



「ぼくの犬」マーティン・ドンチェフ 9歳/男 ブルガリア共和国

ヨコハマトリエンナーレ2014
応援プログラム

海の向こうには、 忘れてはいけない 子どもたちがいる。

～カナガワビエンナーレ国際児童画展から～

[カナガワビエンナーレ国際児童画展とは]

絵画を通じて明日の世界を担う子どもたちの夢と創造力を育み、お互いの生活や多様な文化を理解するために神奈川県が1981年から隔年で開催している展覧会です。第17回展覧会は、2013年7月に世界92か国1地域から約24,000点にのぼる参加を得、あーすぶらざ（横浜市栄区）を主会場として開催されました。第18回展は、2015年6月下旬～8月開催が予定されています。



2014.8.1▶11.3

ヨコトリ
へ行こう

Yokohama Triennale 2014

会場：*gallery and cafe fu*

企画・制作：ギャラリー・アンド・カフェ・フー

協力：神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）、青年海外協力隊 神奈川県OB会

2014

9/6 土 ▶
9/14 日

12:00～20:00
日曜日は18:00まで
月曜日休廊

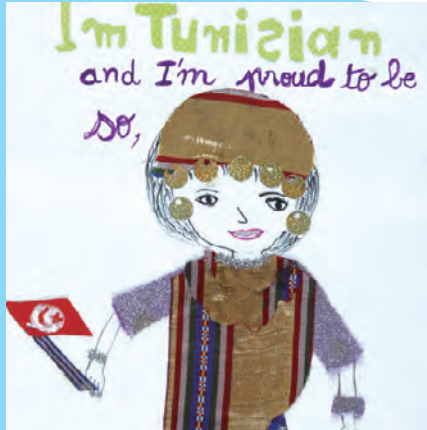
入場無料

世界の子どもたちが描く絵画展!

海の向こうの子どもたちは、
今何を見、何を想っているのだろうか



1



2



3



4



5



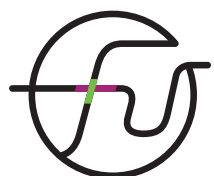
6

- 1「楽しい春」フィリップワ・ソニア 6歳/女 ウクライナ
- 2「わたしの住む町、ガベス」アラール・エルハデフ 9歳/女 チュニジア共和国
- 3「ゾウのかぞく」ティエラパット・セルトクラトケ 6歳/男 タイ
- 4「おもちゃを貸してくれて」ラウ・ユー・ジー 4歳/男 中華人民共和国
- 5「冬」ラドイ・ルクサンドラ 6歳/女 ルーマニア
- 6「ママと一緒にいれば安全」アンナ・マラ 7歳/女 チェコ共和国

そこには、わたしたちが忘れかけている
大切なものがあるかもしれない

忘れられないもの、忘れてはいけないもの

日本から離れたアジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、北アメリカ、南アメリカの6地域の子どもたちが描く絵画は、日常生活を表現するだけにとどまらず、彼らが生きている社会や、その時代を反映しています。gallery and cafe fuでは、ヨコハマトリエンナーレ2014応援プログラムとして17回にわたるカナガワビエンナーレ国際児童画展からセレクトした絵画約20点を展示します。貧困や、紛争に巻き込まれている子どもたちの絵にも、生きる力がみなぎり、希望を持って未来を見つめていることがわかります。そこには私たちが忘れてしまった心や微笑みも存在します。絵の中に描かれた彼らの想いを感じてください。



gallery and cafe fu

gallery and cafe fu

(ギャラリー・アンド・カフェ・フー)

〒231-0868 横浜市中区石川町 1-31-9

phone: 070-6429-8597

email: gcfugm@gmail.com

www.facebook.com/gallery.and.cafe.fu

アクセス: JR石川町駅「元町口」(南口)より徒歩3分

